

高校入試 英語 完全攻略

構造図解

ビジュアル読解トレーニング

Active Study

問題編



文法単元順カリキュラム

解答と解説 **Grade3**

■ 解答 ■

問 1	④
問 2	穴があいていること
問 3	穴のある硬貨とない硬貨を簡単に見分けることができます。
問 4	①

[解説]

- 問 1 ① on the middle (誤用。通常 on は表面に接している場合に用いる)
 ② at the middle (不自然な表現)
 ③ from the middle (「真ん中から」という意味になるので不適)
 ④ in the middle (真ん中に)

- 問 2 直前の文に「Then, why do they have holes?」
 (では、なぜそれらには穴があるのでしょうか。) 」とあります。
 → つまり、「that」は「穴があいていること」を指しています。

- 問 3 we can easily tell A from B : A と B を簡単に見分けられる
 coins with holes : 穴のある硬貨
 coins without holes : 穴のない硬貨
 → 全体で「穴のある硬貨とない硬貨を簡単に見分けることができます」となります。

- 問 4 coins with holes : 穴のある硬貨
 are used : 使われている (受動態)
 in some other countries : 他のいくつかの国で
 正しい語順は、① 5-6-8-2-4-9-1-7-3
 (coins with holes are used in some other countries) です。
 文の意味は「穴のある硬貨は他のいくつかの国で使われています」です。
 意味が通じ、自然な英文になります。

■ 解答 ■

問 1	茶わんや湯のみ(など)
問 2	私たちは焼き物を土で作ります。
問 3	③
問 4	①

[解説]

問 1 直前に「you use a rice bowl」「you use a tea cup」とあり、それらをまとめて「These things (これらのもの)」と指しています。

→ よって、「These things」は「茶わんや湯のみ」などの焼き物の食器を表しています。

問 2 We make：私たちは作ります

yakimono：焼き物

with clay：土で

→ 全体で「私たちは焼き物を土で作ります」という意味になります。

問 3 「the first products of *yakimono* in Japan were weak (最初の焼き物は弱かった)」とあります。

→ 対比として「今ではより強い焼き物を作れるようになった」と言いたいので、③ stronger が適切です。

問 4 主語：*yakimono* (焼き物)

動詞：is also called (～とも呼ばれている) 受動態

補語：*setomono* (せともの)

副詞句：especially in the east area of Japan (特に日本の東部地域で)

→ 正しい語順は、① 1-6-4-9-2-11-3-7-5-10-8-12

(*Yakimono* is also called *setomono* especially in the east area of Japan)

意味「焼き物は、特に日本の東部地域では「せともの」とも呼ばれています」

意味が通じ、自然な英文になります。

■ 解答 ■

問 1	③
問 2	④
問 3	1870 年代には、人々は腕時計を使わず、ふつうは懐中時計を使っていました。
問 4	腕時計が一般的になったとき

[解説]

問 1 as は「～として」という意味で、役割・用途を表します。

① by (～によって) → 「人や手段」に使うので不適

② for (～のために) → 目的には使えるが、「～として」ほど自然でない

④ of (～の) → 所有や部分を表すが意味が合わない

→ よって、正解は、③ as です。

問 2 do you know (知っていますか)

there is ～ (～があります)

a small pocket (小さなポケット)

正しい語順は、④ 6-8-5-7-3-1-2-4

(Do you know there is a small pocket) です。

文の意味は「(大きな前ポケットの上に) 小さなポケットがあるのを知っていますか」です。

意味が通じ、自然な英文になります。

問 3 In the 1870s : 1870 年代に→ 時代を表す

people didn't use wristwatches : 人々は腕時計を使わなかった

and they usually used pocket watches : they (彼ら＝人々) は、たいてい
懐中時計を使っていた

→ 全体で「1870 年代には、人々は腕時計を使わず、ふつうは懐中時計を使っていました」となります。

問 4 直前の文で「Since wristwatches became popular (腕時計が一般的になってから)」と述べられているため、then は「腕時計が一般的になったとき(時期)」を指しています。

■ 解答 ■

問 1	④
問 2	②
問 3	温泉(地)
問 4	私は一度も 1 週間以上滞在したことはありません。

[解説]

- 問 1 have you ever been to ～? : ～に行ったことがありますか? (現在完了・経験)
a hot spring : 温泉
正しい語順は、④ 5-3-4-2-1-6-8-7
(Have you ever been to a hot spring) です。
文の意味は「あなたは温泉に行ったことがありますか」です。
意味が通じ、自然な英文になります。
- 問 2 文の前半 : 「Nowadays, many Japanese people consider hot spring resorts as tourist spots. (最近では、温泉地は観光地として考えられている)」
文の後半 : 「in the past, people stayed at hot springs to treat illnesses. (昔は病気を治すために滞在していた)」
→ 対照的な内容が続いているので、逆接の接続詞 ② However (しかし) が最も適切です。
- 問 3 直前の文に「people stayed at hot springs (人々は温泉に滞在した)」とあるので、there は「温泉(地)」を指しています。
- 問 4 I have never stayed : 私は一度も滞在したことがない (現在完了・経験の否定)
for more than a week : 1 週間以上の間
→ 全体で「私は一度も 1 週間以上滞在したことはありません」となります。

■ 解答 ■

問 1	半年前に日本に来たとき
問 2	②
問 3	①
問 4	ちょうど今、それを読み始めようとしているところです。

〔解説〕

- 問 1 直前の文に「I came to Japan half a year ago (半年前に日本に来ました)」とあるため、then は「半年前に日本に来たとき」を指しています。
- 問 2 「友だちの Yuto が Emily に新しい漫画本を〇〇した」という場面です。
後に Emily が「I haven't read it yet. (まだ読んでいません)」と答えていることから、その漫画本を貸してもらったことがわかります。
→ ② lent (貸した) が最も適切です。
① kept (保管した) : 文意に合いません。
③ showed (見せた) : 見せただけでは、その後の話に続かない。
④ read (読んだ) : 「he (Yuto) が私に読んでくれた」という意味に取ることもできますが、後の文で Emily が「私はまだ読んでいない」と言っているため、この選択肢は文脈に合いません。
- 問 3 Have you finished ~ yet? : もう～を終えましたか? (現在完了)
reading that comic book : その漫画を読むこと
正しい語順は、① 8-1-7-6-3-4-5-2
(Have you finished reading that comic book yet) です。
文の意味は「あなたはもうその漫画を読み終えましたか」です。
意味が通じ、自然な英文になります。
- 問 4 be about to ~ : まさに～しようとしているところ
just は「ちょうど」「まさに」を強調する副詞
start reading it : それを読み始める
→ 全体で「ちょうど今、それを読み始めようとしているところです!」という訳になります。

■ 解答 ■

問 1	①
問 2	①
問 3	台風につけられる名前
問 4	彼らはそのような名前を 2000 年から使い続けています。

[解説]

- 問 1 Do you know ～? (～を知っていますか)
 each typhoon (それぞれの台風)
 has a name (名前を持っている)
 正しい語順は、① 3-4-6-5-1-7-8-2
 (Do you know each typhoon has a name) です。
 文の意味は「あなたは、台風それぞれに名前があるのを知っていますか」です。
 意味が通じ、自然な英文になります。
- 問 2 for + 期間 → ある期間にわたって (for two years など)
 since + 起点 → 始まりの時点を表す (since 2000 など)
 → 「many years」という期間を表す語句があるため、正解は ① for に
 なります。
- 問 3 「those names are related to Asia (それらの名前はアジアに関係していま
 す)」とあり、直前に「People used to use English names for typhoons...」
 とあります。
 → よって、those names は「台風につけられる名前」を指しています。
- 問 4 They have been using ～ since ～ : 彼らは～からずっと～を使い続けている
 (現在完了進行形)
 such names : そのような名前 (=アジアに関係した台風の名前)
 → 全体で「彼らはそのような名前を 2000 年から使い続けています」という
 意味になります。

■ 解答 ■

問 1	①
問 2	②
問 3	そのはん点は、バナナがとても甘いことを示しています。
問 4	バナナ

[解説]

問 1 he taught me (彼は私に教えてくれました)

a lot of things (たくさんのこと)

about bananas (バナナについて)

正しい語順は、① 4-1-6-5-7-9-8-3-2

(he taught me a lot of things about bananas) です。

文の意味は「彼は私にバナナについてたくさんのことを教えてくれました」です。意味が通じ、自然な英文になります。

問 2 文は「People (A) them sugar spots.

(人々はそれらを“シュガースポット”と (A))」という意味になります。

このような表現では、call A B (A を B と呼ぶ) という形が使われます。

① say (～と言う) : 「say A B」は文法的に誤り。

③ speak (話す) : 「speak them」は文法的に誤り。「speak English」など言語を目的語にすることが例外的にありますが、基本的には目的語を伴いません。

④ talk (話す) : 目的語 (them) を直接取れません。「He talked to me. (彼は私に話しかけた)」のような使い方をします。

→ よって、正解は、② call です。

問 3 The spots : そのはん点 (=バナナの皮の茶色い点)

show that ～ : ～ということを示す

the bananas are very sweet : バナナがとても甘い

→ 全体で「そのはん点は、バナナがとても甘いことを示しています」となります。

問 4 「sugar spots teach us the right time to eat them (シュガースポットは、それらを食べるのにちょうどよい時期を教えてください)」とあり、「them」は文脈から「バナナ」を指しています。

■ 解答 ■

問 1	①
問 2	②
問 3	坊っちゃん(という本)
問 4	その本は少し難しいですが、私にとっても強い印象を与えます。

[解説]

問 1 Reading books：本を読むこと（動名詞で主語）

makes me very happy：私をととても幸せにする

正しい語順は、① 4-1-5-2-3-6

（Reading books makes me very happy）です。

文の意味は「本を読むことは、私をととても幸せにしてくれます」です。

意味が通じ、自然な英文になります。

問 2 ① of：～の（所有や部分）

③ from：～から（出所）

④ with：～を使って（道具や手段）

「『坊っちゃん』は夏目漱石によって書かれた本です」のように作者を表すときは、② by（～によって）が正解です。

問 3 直前の文に「My favorite book is *Botchan* by Natsume Soseki.」とあり、it は『坊っちゃん』を指しています。

問 4 The book is a little difficult：その本は少し難しい

it impresses me very much：それは私にとっても強い印象を与えます（感動させる）

→ 全体で「その本は少し難しいですが、私にとっても強い印象を与えます」となります。

■ 解答 ■

問 1	釣り
問 2	①
問 3	知識なしで釣りをする事は環境を壊すことがあります。
問 4	③

[解説]

問 1 「They have to get a national license for it (彼らはそのために国家資格を取得しなければならない)」となっており、直前に「it is difficult for Germans to enjoy it」「Many people all over the world like to go fishing.」とあることから、it は「釣り」を指しています。

問 2 this license：この資格
must be renewed：更新されなければならない（受動態）
every few years：数年ごとに
正しい語順は、① 6－5－4－1－2－8－7－3
(this license must be renewed every few years) です。
文の意味は「この資格は数年ごとに更新されなければなりません」です。
意味が通じ、自然な英文になります。

問 3 To fish without knowledge：知識なしで釣りをする事（不定詞の名詞的用法）
can damage the environment：環境を壊すことがある（可能性がある）
→ 全体で「知識なしで釣りをする事は環境を壊すことがあります」となります。

問 4 「not only A but also B (A だけでなく B も)」の基本構文になっています。
A = knowledge of fish and fishing (魚と釣りの知識)
B = environmental laws (環境法)
→ よって、正解は、③ but です。

■ 解答 ■

問 1	①
問 2	ゾウの鼻は長すぎてうまく呼吸できません。
問 3	③
問 4	耳を動かすこと

[解説]

- 問 1 It helps to ～：～するのに役立つ
to cool the blood：血液を冷やすこと
正しい語順は、① 5-1-6-2-3-4 (it helps to cool the blood) です。
文の意味は「それは血液を冷やすのに役立ちます」です。
意味が通じ、自然な英文になります。
- 問 2 too ～ to …：～すぎて…できない
breathe well：うまく呼吸する
→ 全体で「ゾウの鼻は長すぎて、うまく呼吸できません」となります。
- 問 3 「形容詞+enough to ～」は「～するのに十分～だ」という意味を表す構文です。このまま覚えましょう。
- 問 4 冒頭に「Elephants sometimes move their ears to control their body temperature. (ゾウは体温を調整するために耳を動かすことがあります)」とあり、「there is an important reason for that action (その行動には大切な理由があります)」と続くことから、that action は「耳を動かすこと」を指しています。

■ 解答 ■

問 1	②
問 2	もし大きな映像とよい音で映画を楽しみたいなら
問 3	①
問 4	映画

[解説]

- 問 1 ① Although：～だけれども → 「何もすることがないけれども、映画を見るのはよい」という意味です。すでに「何もすることがない」状況で、「やむを得ず映画を見る」という消極的な態度で、後に続く積極的な提案と合いません。
 ③ Until：～するまで → 「何もすることがないまで映画を見るのがよい」という意味になり不自然です。
 ④ Before：～する前に → 「何もすることがない前に映画を見る」という文は意味が通りません。
 → 文の意味が最も自然なのは ② When（～するとき：時を表す）です。
- 問 2 If you want to ～：もし～したいなら
 enjoy watching movies：映画を見るのを楽しむ
 with a big picture and good sound：大きな映像とよい音で
 → 全体で「もし大きな映像とよい音で映画を楽しみたいなら」となります。
- 問 3 You can find ～：～を見つけることができます
 movies to watch：見るべき映画
 正しい語順は、① 6-5-4-1-3-2 (You can find movies to watch) です。
 文の意味は「見るべき映画を見つけることができます」です。
 意味が通じ、自然な英文になります。
- 問 4 文は「You can enjoy watching them at home at any time (いつでも家でそれらを見ることができます)」です。
 直前に「You can find movies to watch. (見るべき映画を見つけることができます)」とあるため、them は「movies (映画)」を指しています。

■ 解答 ■

問 1	②
問 2	彼は電車で一人で自分の町の隣にある図書館に行きました。
問 3	彼が帰り道で道に迷っていたとき
問 4	③

[解説]

問 1 Tom が「わからないことがあるとき、周りの人がいつも何をすべきか教えてくれる」ことから、日本人は親切 (② kind) だと思っているとわかります。

① shy (恥ずかしがりの)

③ busy (忙しい)

④ strong (強い)

→ これらは Tom が感じた印象としては不自然です。

問 2 went to the library : 図書館に行った

next to his town : 彼の町の隣にある

by train : 電車で

alone : 一人で

→ 全体で「彼は電車で一人で自分の町の隣にある図書館に行きました」となります。

問 3 直前の文に「On his way home, he got lost. (帰り道で道に迷った)」とあり、そのすぐあとに「At that time, a Japanese woman talked to him.」と続くため、At that time は「道に迷っていたとき」を指します。

問 4 she told him : 彼に伝えた

how to get to the station : 駅への行き方

正しい語順は、③ 6-1-8-5-3-4-9-7-2

(she told him how to get to the station) です。

文の意味は「彼女は彼に駅への行き方を教えました」です。

意味が通じ、自然な英文になります。

■ 解答 ■

問 1	①
問 2	③
問 3	ケンタが作ったビーフシチュー
問 4	私は料理を作ることが誰かに感謝を伝えるよい方法だとわかっています。

[解説]

問 1 I wanted her to ～：私は彼女に～してほしかった

teach cooking to me：私に料理を教える

正しい語順は、① 4－7－2－8－1－3－5－6

(I wanted her to teach cooking to me) です。

文の意味は「私は彼女に料理を教えてほしかった」です。

意味が通じ、自然な英文になります。

問 2 ①「why to cook」は文法的に誤り。

②「when to cook (いつ作るか)」は時間を表す目的に使われますが、この文脈には合わないため不適。

④「where to cook (どこで料理するか)」も文法的には成立しますが、文脈上「場所」ではなく「作り方」を言いたいため不自然です。

→ この文では「料理のしかた」という意味の「how to cook」が最も自然です。よって、正解は、③ です。

問 3 文中で祖母が「お母さんはビーフシチューが好きだから、それを作ってあげなさい」と言っており、その後「I cooked it for her」とケンタが言っているため、it は「ケンタが作ったビーフシチュー」を指します。

問 4 I know ～：私は～とわかっている

making dishes：料理を作ること (動名詞)

is a good way to thank someone：誰かに感謝を伝えるよい方法である

→ 全体で「私は料理を作ることが誰かに感謝を伝えるよい方法だとわかっています」となります。

■ 解答 ■

問 1	④
問 2	マンゴードーナツ
問 3	両親がそれを食べて楽しんでいるのを見て、私はうれしかったです。
問 4	②

[解説]

- 問 1 I helped them : 私は彼らを手伝った
 think of ~ : ~を思いつく
 some good ideas : いくつかのよいアイデア
 正しい語順は、④ 4-6-8-2-3-1-5-7
 (I helped them think of some good ideas) です。
 文の意味は「私は彼らがいくつかのよいアイデアを思いつくのを手伝いました」です。意味が通じ、自然な英文になります。
- 問 2 直前に「I suggested a “mango donut” . (私はマンゴードーナツを提案しました)」とあり、「they tried it (彼らはそれを試しました)」と続いているため、it は「マンゴードーナツ」を指しています。
- 問 3 I was glad : 私はうれしかった
 when I saw ~ : ~を見たとき
 my parents enjoy eating it : 両親がそれを食べて楽しんでいる
 → 全体で「両親がそれを食べて楽しんでいるのを見て、私はうれしかったです」となります。
- 問 4 ① about : ~について → 「親についてパン職人」となり、意味が通りません。
 ③ on : ~の上に → 文法的にも意味的にも不自然です。
 ④ of : ~の → 「親のパン職人」となり、意味が通りません。
 → この文では「~のような(例や類似)」という意味を表す ② like が最も自然です。

■ 解答 ■

問 1	②
問 2	④
問 3	彼はなぜジョンがその名前を知っていたのかがわかりませんでした。
問 4	鳥(たち)

[解説]

問 1 what kind of bird：どんな種類の鳥か

he didn't know：彼は知らなかった

what kind of bird it was：(間接疑問文の語順)

正しい語順は、② 8-4-5-6-1-3-7-2-9

(He didn't know what kind of bird it was) です。

文の意味は「彼はそれがどんな鳥なのか知らなかった」です。

意味が通じ、自然な英文になります。

問 2 ①「tell A on B」という構文は英語として不自然で意味が通りません。

②「tell A from B」で「A と B を見分ける」という別の構文になるため、文の意味と合いません。

③「tell A at B」という形は存在せず、意味が通らなくなるため不適です。

④「tell A to B (A を B に伝える)」が使われています。

問 3 He didn't know：彼はわからなかった

why John knew ～：なぜジョンが～を知っていたのか

its name：その名前

→ 全体で「彼はなぜジョンがその名前を知っていたのかがわかりませんでした」となります。

問 4 直前に「I'm interested in birds. So I often read books about them. (私は鳥に興味があるので、よくそれらについての本を読みます)」とあります。

→ them は「birds (鳥)」を指しています。

■ 解答 ■

問 1	(性格を知るために) 友達の血液型を聞くこと
問 2	③
問 3	それは地球を 2 周半するのに十分な長さです。
問 4	①

[解説]

問 1 直前の文に「some people ask friends' blood types to know their personalities. (性格を知るために友達の血液型を聞く人がいる)」とあり、次に「It is an interesting way to know each other.」と続いているので、It は「(性格を知るために) 友達の血液型を聞くこと」を指しています。

問 2 ① under (～の下を) : 血管の下を流れるという意味になり不適
 ② across (～を横切って) : 血管を横切る
 ③ through (～の中を通して) : 血液が血管の中を通して流れる。最も自然。
 ④ behind (～の後ろに) : 血管の後ろ側

問 3 It is enough to ～ : ～するのに十分だ
 circle the Earth : 地球を一周する
 two and a half times : 2 回半
 → 全体で「それは地球を 2 周半するのに十分な長さです」となります。

問 4 Didn' t you learn ～? : ～を学ばなかったの? (=学んだでしょ?)
 one surprising fact : 1 つの驚くべき事実
 of our body : 私たちの体についての
 正しい語順は、① 6-2-3-7-4-1-5
 (Didn' t you learn one surprising fact of) です。
 文の意味は「あなたは (私たちの体についての) 1 つの驚くべき事実を学ばなかったですか?」です。
 意味が通じ、自然な英文になります。

■ 解答 ■

問 1	②
問 2	それは、友だちとわくわくすることをしようとする男の子のお話です。
問 3	トム・ソーヤの冒険(という本)
問 4	③

[解説]

問 1 ① during は特定の期間 (例 : during the summer) に使う

③ by は「～までに」

④ in は「～以内に」「～後に」など

→ 「～の間」という時間の長さを表すには ② for を使います。

for more than two hours (2 時間以上の間)

問 2 It's a story about ～ : ～についての物語です

a boy trying to do ～ : ～しようとしている少年

exciting things : わくわくすること

→ 全体で「それは、男の子が友だちとわくわくすることをしようとするお話です」となります。

問 3 直前の文で「I like The Adventures of Tom Sawyer the best.」とあり、次に

「I've read this book many times because it really makes me happy. (それは本当に私を幸せにしてくれるから、私はこの本を何度も読んだ)」と続いているので、it は「トム・ソーヤの冒険 (という本)」を指します。

問 4 I want : 私は～してほしい

a lot of people : たくさんの人

to read The Adventures of Tom Sawyer : トム・ソーヤの冒険を読むこと

「I want + 人 + to + 動詞」 : 人に～してほしい

正しい語順は、③ 4-2-5-8-6-1-7-3 (I want a lot of people to read) です。

文の意味は「私はたくさんの人にトム・ソーヤの冒険を読んでほしい」です。意味が通じ、自然な英文になります。

■ 解答 ■

問 1	私はいつも、ナナという名前の私の犬の写真を持ち歩いています。
問 2	④
問 3	ナナ(筆者の犬)
問 4	①

[解説]

- 問 1 I always bring ～ with me：私はいつも～を持ち歩く
a picture of my dog：「私の犬の写真」
named Nana：「ナナという名前の」
→ 全体で「私はいつも、ナナという名前の私の犬の写真を持ち歩いています」
となります。
- 問 2 文の意味は「私は英語を勉強するためにアメリカ（A）います」。
「今、自分がどこにいるか」を表しているので、④ in が適切です。
① from → 「I am from America.（私はアメリカ出身です）」などに使いますが、
筆者の両親は北海道に住んでいて、アメリカ出身ではないため不適。
② of → 「～の」や「～に属する」という所有や所属の関係を表しますが、
「アメリカに属して英語を勉強している」とするのは意味的に不自然です。
③ until → 時間の継続や終点を表し、文法的にも意味的にも不自然です。
- 問 3 冒頭に「my dog named Nana」とあり、そのあとも「She lives with my parents」
や「I miss her so much」のように Nana について話が続いています。
→ よって her は「Nana（犬）」を指しています。
- 問 4 主語：we（私たちは）
動詞：enjoyed running（走るのを楽しんだ）
the road covered with snow：雪でおおわれた道
正しい語順は、① 8-2-6-1-3-5-4-7
（we enjoyed running the road covered with snow）です。
文の意味は「私たちは、雪でおおわれた道を走るのを楽しんだ」です。
意味が通じ、自然な英文になります。

■ 解答 ■

問 1	西洋人が靴をはいたまま日本の家に入って、日本人に迷惑をかけたこと。
問 2	②
問 3	④
問 4	スリッパは日本で生まれた最も素晴らしい発明の一つです。

[解説]

問 1 直前に述べられている内容を指します。本文では「people who entered Japanese houses without taking off their shoes caused trouble for the Japanese (靴をはいたまま日本の家に入る人々が日本人に迷惑をかけた)」とあるので、それが問題として言及されています。

問 2 ① On first : 不自然な表現
 ③ In first : 意味が通らない
 ④ By first : 不適切 (by は手段や近接を表す)
 → ② 「At first (最初は)」が自然な表現です。

問 3 主語 : Slippers (スリッパ)
 動詞 : are (～である)
 補語 : the shoes which are worn indoors
 the shoes (その靴) が主語に対応する名詞
 which are worn indoors は関係代名詞節で、「屋内で履かれる」という意味を shoes に説明として加えています。
 正しい語順は、④ 7-1-3-5-4-8-6-2
 (Slippers are the shoes which are worn indoors) です。
 文の意味は「スリッパは、屋内で履かれる靴です」です。
 意味が通じ、自然な英文になります。

問 4 Slippers : スリッパ
 are one of the greatest inventions : 最も素晴らしい発明の一つである
 that were born in Japan : 日本で生まれた (関係代名詞 that による修飾)
 → 全体で「スリッパは日本で生まれた最も素晴らしい発明の一つです」となります。

■ 解答 ■

問 1	④
問 2	もし風邪をひいたら、それを広めないように気をつけるべきです。
問 3	手
問 4	④

[解説]

- 問 1 ① to (～へ) : 方向を示す前置詞で、意味が合いません。
 ② for (～のために) : 目的を示しますが、この文では意味が通りません。
 ③ by (～によって) : 手段を表します。
 「～から (原因)」を表す場合には ④ from が最も自然です。
- 問 2 If you catch a cold : 風邪をひいたら
 you should be careful : 気をつけるべきです
 not to spread it : それ (風邪) を広めないように
 → 全体で「もし風邪をひいたら、それを広めないように気をつけるべきです」
 となります。
- 問 3 直前の文「If your hands have the virus on them」では、hands (手) が
 「them」の内容です。「手にウイルスがついていると、」という意味になります。
- 問 4 主語 : you (あなたは)
 助動詞 + 動詞 : will leave (残すでしょう)
 目的語 : it
 on everything that you touch (あなたが触れるすべてのものに)
 正しい語順は、④ 9-8-7-6-5-1-4-3-2
 (you will leave it on everything that you touch) です。
 文の意味は「あなたが触れるすべての物に、それ (=ウイルス) を残すことにな
 ります」です。
 意味が通じ、自然な英文になります。

■ 解答 ■

問 1	②
問 2	②
問 3	鳥は、生まれて最初に見たものを自分の親だと思います。
問 4	ひなが親ではなくローレンツを最初に見てついていったこと

[解説]

問 1 「Lorenz was a boy」 (ローレンツは少年だった)

「whose hobby was studying animals」 (趣味が動物の研究だった) 関係代名詞節が boy を修飾しています。

正しい語順は、② 3-1-4-8-2-7-9-5-6

(Lorenz was a boy whose hobby was studying animals) です。

文の意味は「ローレンツは、動物の研究を趣味とする少年だった」です。

意味が通じ、自然な英文になります。

問 2 ② 「Even after 〜」は「〜の後でさえも」「〜になってもなお」といった意味で、「大人になってからもなお動物の研究を続けた」という文脈に最適です。

① Still (それでも) : 逆接的な文脈で使われる語ですが、「after he became an adult」とつながらず不自然です。

③ Only (〜だけ) : 限定を表す語であり、「only after...」とした場合、強調構文になりますが、文全体の意味として合いません。

④ Then (そのとき) : 「Then after he became an adult,」という語順は文法的にも意味的にも不自然です。

問 3 「birds think of 〜 as …」は「〜を…だと思う」という構文。

「the first thing they see when they're born」は「彼らが生まれたときに最初に見るもの」です。

→ 全体で「鳥は、生まれて最初に見たものを自分の親だと思います」となります。

問 4 「That was the incident at which he was surprised.」の「That」は、直前の「one of them followed Lorenz, not its parent.」を受けています。つまり、

「ひなが親ではなくローレンツを最初に見てついていったこと」という出来事を指しています。

■ 解答 ■

問 1	②
問 2	カカオの花の受粉をする役割
問 3	③
問 4	もし世界に蚊がいなかったら、私たちはチョコレートを楽しんで食べることができなかったでしょう。

[解説]

問 1 I wish I lived ～：私は～に住んでいたらいいのと思う（仮定法過去）

in a world without mosquitoes：蚊のいない世界に

正しい語順は、② 9－8－3－6－2－4－7－5－1

(I wish I lived in a world without mosquitoes) です。

文の意味は「私は蚊のいない世界に住んでいたらいいのと思う」です。

意味が通じ、自然な英文になります。

問 2 文中では、「Mosquitoes are essential for pollinating cacao plants.」と

あり、「mosquitoes (蚊)」が「cacao plants (カカオの木)」の「受粉

(pollinating)」に重要な役割を果たしていると述べられています。

問 3 ① of：材料の形がほとんど変わっていないときに使う（例：a table made of wood）

② by：動作主を表す（例：The book was written by her.）

④ with：道具を表す（例：cut it with a knife）

③「be made from ～」は「～から作られている（原材料の形が変化している）」という意味で、カカオからチョコレートが作られる場合に最も適切な表現です。

問 4 If there were no mosquitoes in the world：もし世界に蚊がいなかったら

we couldn't enjoy eating chocolate：チョコレートを楽しんで食べることができなかったでしょう

→ 全体で「もし世界に蚊がいなかったら、私たちはチョコレートを楽しんで食べることができなかったでしょう」となります。

■ 解答 ■

問 1	誰にでも情報をわかりやすくするためにデザインされた、シンプルな絵のある標識を見たことがありますか。
問 2	①
問 3	②
問 4	反対の色(赤と緑)

〔解説〕

問 1 Have you ever seen ～? : ～を見たことがありますか (現在完了・経験)

simple pictures : シンプルな絵

designed to ～ : ～するためにデザインされた (過去分詞による形容詞句)

make A easy to B : A を B するのを簡単にする

→ 全体で「誰にでも情報をわかりやすくするようにデザインされたシンプルな絵のある標識を見たことがありますか」となります。

問 2 主語 : These pictures (これらの絵)

動詞 : are called (～と呼ばれている／受動態)

補語 : pictograms (ピクトグラム)

正しい語順は、① 4-5-1-3-2

(These pictures are called pictograms) です。

文の意味は「これらの絵はピクトグラムと呼ばれています」です。

意味が通じ、自然な英文になります。

問 3 ① strong (強い) : 意味は通るが、「色が強い」では具体性に欠け不自然

③ similar (似ている) : 対義語である「赤と緑」という文脈に反する

④ beautiful (美しい) : 文脈の中で目的に合わない

→ ここでは②「色は重要である (colors are important)」が自然な流れです。

問 4 直前の文に「green, the opposite color of red, is used for emergency exit signs. (緑は赤の反対色で、非常口の標識に使われる)」とあります。

そして次に「When you put these opposite colors together (これらの反対の色を一緒にすると)」と続きます。

→ they はこの「反対の色 (red と green)」を指しています。

■ 解答 ■

問 1	①
問 2	④
問 3	石は人生のようなもので、コケは成功のようなものです。
問 4	一つの場所に長くともどまらずに転職や引っ越しをくり返している と、物事をうまくやったりお金を得たりするのは難しい、という意 味のことわざです。

[解説]

- 問 1 関係代名詞：that (a small plant を先行詞とする主格の関係代名詞)
 関係代名詞節：that grows on wet things like stones (濡れた石のようなもの
 のに生える)
 副詞句：on the ground (地面にある)
 正しい語順は、① 1-2-4-5-7-3-9-10-6-8
 (that grows on wet things like stones on the ground) です。
 文の意味は「地面の石のような濡れたものの上に生える～」です。
 意味が通じ、自然な英文になります。
- 問 2 「植物は () 動いている石には生えない」という文です。この後の
 「A rolling stone gathers no moss.」の説明として、「いつも動き回ってい
 る人は、成功や財産を得にくい」とあることから、④ always が最も自然です。
 ① already (すでに)：「すでに動いている石」とすると、時間的な完了を表
 す意味になり、この文脈では継続的な動きを表す必要があるため不適切。
 ② never (決して～ない)：「決して動かない石」ではなく、「動いている石」
 について述べているため意味が逆になります。
 ③ very (とても)：「very moving stone (とても動いている石)」は不自然。
- 問 3 A is like B：「A は B のようなもの」
 それぞれ「石＝人生」「コケ＝成功」と例えています。
 → 抽象的なことわざの意味を、比喩で説明している文です。
- 問 4 本文中に「if a person changes jobs or moves without staying at one
 place for a long time, it will be difficult for him or her to do things
 well or get much money.」とあります。
 → 一つの場所にとどまることの大切さを教えることわざです。

■ 解答 ■

問 1	②
問 2	これらの経験は、私たちが社会を理解するのを助けます。
問 3	①
問 4	幼稚園を訪れて小さな子どもたちと遊ぶこと / 街をきれいにする活動に参加すること

[解説]

問 1 文は「私の中学校では、生徒に毎年ボランティア活動をする（ A ）を与えている」という意味です。→ ここでは「機会」という意味の ② chance が正解。

① work：「仕事、労働」という意味で、報酬や義務のイメージが強く、無償で行うボランティア活動には適しません。

③ problem：「問題」という意味で、文意に合いません。ボランティア活動は問題ではありません。

④ present：「贈り物」という意味で、「プレゼントを与える」という意味になりますが、文脈には合いません。

問 2 These experiences：これらの経験
will help us：私たちの助けになる
understand society：社会を理解する
→ 全体で「社会を理解する助けになる」となります。

問 3 主語：we
動詞：finish（終える）
目的語：the volunteer activities（ボランティア活動）
接続：When（～するとき）
正しい語順は、① 6-4-3-1-5-2
（When we finish the volunteer activities）です。
文の意味は「私たちがボランティア活動を終えるとき」です。
意味が通じ、自然な英文になります。

問 4 Some visit kindergartens and play with younger children.
others join the activities to clean our city.
→ この 2 つが実際に行われているボランティア活動です。